

夏休み少年少女名作鑑賞

少年時代から鑑賞眼を養い高めるということは、将来の人間形成に役立つものがあります。そこで、夏休みの間に少年層でも理解できうるであろう心に残る映画を選んでここに特集をつくりました。ジュニア版フィルムセンターとして、御家族ともども御用いただきたいと存じます。

○上映は午後3時と6時15分の2回。先着順にて定員239名に達し次第入場を締め切ります。(開館は12時30分)。

○ヒル・ヨル全館入れ替え制。

*日曜・祝日は休館。

1980年8月 フィルムセンター

一般200円・学生140円・小人100円

期日	ピル(3時)	ヨル(6時15分)
8月19日(火)	ノンちゃん雲に乗る(83分)	素晴らしい風船旅行(90分)
20日(水)	小さい逃亡者(111分)	虹を渡る男(78分)
21日(木)	龍の子太郎(アニメーション・75分)	明治はるあき(アニメーション・70分)
22日(金)	子供の四季(139分)	野ばら(95分)
23日(土)	白き氷河の果てに(記録映画・122分)	若草の祈り(105分)

ノンちゃん雲に乗る

新東宝1955年作品

原作=石井桃子 脚色=村山節子 脚色
・監督=倉田文人 撮影=小原讓治 美術=山手健 音楽=飯田信夫 解説=阿里道子 出演=鰐淵晴子(ノンちゃん)、原節子(母)、藤田進(父)、徳川夢声(雲のお爺さん)、大泉滉(青空詩人)、倉田マユミ(川本先生)、臼井正明(山口先生)、名星草(運転手)、木崎豊(田村医師)、石弓明(長吉) 6月7日封切

童話作家石井桃子が文部大臣賞を受賞した同名作品を映画化したものである。現実の世界と愛の世界を対比させながら子供の世界を幻想的に描いた作品。天才的な少女バイオリニストとして人気のあった幼い鰐淵晴子が生き生きとノンちゃんを演じている。

素晴らしい風船旅行

Le Voyage en Ballon

フランス1960年作品

脚本・監督=アルベール・ラモリス 撮影=モーリス・フェル、ギイ・タバリ 空中撮影=アルベール・ラモリス 音楽=ジヤン・プロドロミディス 出演=バスカル・ラモリス(少年)、アンドレ・ジル(祖父)、モーリス・バケ(助手) カラー 1961年3月21日封切

「白い馬」「赤い風船」で映像詩の作家として著名なラモリスが初めて取り組んだ長篇劇映画。老学者が発明した気球に乗って助手と少年がフランス縦断の冒險旅行をする一部始終を詩情豊かに描いた作品。少年はラモリス監督の実の息子であり、空中からの撮影には特殊なハリコーを用いた《ヘリビジョン》方式が使われた。

小さい逃亡者

ソ連=大映1966年作品

脚本=小国英雄、エミール・プラギンスキイ 監督=衣笠貞之助、エドワード・ボチャロフ 撮影=宮川一夫、ピーター・カターエフ 美術=渡辺竹三郎、パシケビッチ 音楽=エミング・ハチャトリヤン 出演=稻吉千春(健)、安田道代(道子)、太田博之(成人の健)、ユーリ・ニクーリン(道化師)、タチャーナ・ニクーリン(夫人)、宇津井健(田端先生)、藤巻潤(木村)、坪内ミキ子(女教師)、船越英二(在留邦人)、宇野重吉(野田)、京マチ子(山村) カラー 12月24日封切

日本とソ連の合作映画第一回作品である。モスクワに生存しているという父を探しに、孤児の健が横浜からナホトカを経てレンゲラードまで旅する姿を描いたもの。ボリショイ・サーカス団員も出演しており、中でも有名な道化師ニクーリンが重要な役を演じている。

虹を渡る男

The road to the Arena

ソ連1963年作品

脚本=アレクサンドル・ユロフスキイ 監督=レヴィオン・イサクヤン、ゲンリッフ・マリヤン 撮影=ジライル・ワルタニヤン 音楽=コンスタンチン・オルベリヤン 出演=レオニード・エンギバロフ、イリーナ・シェストゥワ、ウラジミール・タトーソフ、ゴウルゲン・シュフナザリヤン カラー 1966年6月11日封切

サークス団の道化師にあこがれた一人の少年があらゆる困難を乗りこえて、立派な道化師に成長するまでの描いたアルメニア共和国映画。アルメニアの有名なサークス団員が出演している。

龍の子太郎

東映动画1979年作品

原作=松谷みよ子 脚本・監督=浦山桐郎 アニメ監督=葛西治 作画=小田部羊一 美術=土田勇 音楽=真鍋理一郎 声=加藤淳也(太郎)、吉永小百合(母)、熊倉一雄(赤鬼)、樹木希林(山姥)、北村和夫(黒鬼) カラー 3月17日封切

童話作家松谷みよ子が信州に古くから伝わる民話に材を取って書き上げた物語を、「キューポラのある街」「青春の門」の浦山桐郎監督が初めて取り組んだアニメーション作品。幼い頃別れた母をたずね、今では龍に化身した母と力を合わせて村の貧しさを救う話で、東映动画31本目の長篇アニメーション映画。

明治はるあき

博物館明治村1968年作品

原作=安藤鶴夫 脚色=堀江英雄 監督=五所平之助 撮影=篠村莊三郎 音楽=山下毅雄 美術=平川透徹 朗読=宮城まり子、久米明 人形美術=竹田喜之 助 人形=竹田人形座 カラー

愛知県犬山市にある明治村は明治期の著名な建造物を各地から移築再現した野外博物館である。この映画は明治百年の記念事業として製作されたもので、本物の建造物を背景に小さなあやつり人形を動かしての撮影は大変困難なものがあったといわれる。祖父の幼年期の思い出と共に明治期の下町生活が情緒細やかに描かれている。

子供の四季

松竹1939年作品

原作=坪田譲治 脚色・監督=清水宏 撮影=斎藤正夫、厚田雄春 美術=江坂実 音楽=伊藤宜二 出演=河村黎吉(父)、吉川満子(母)、葉山正雄(善太)、横山準(三平)、坂本武(祖父)、岡村文子(祖母)、西村青児(老僧)、古谷輝夫(金太郎)、若水絹子(光子)、日守新一(俊一) 1月28日(前)、2月2日(後)封切

小説家、童話作家として著名な坪田譲治の同名小説を映画化したもので、この

原作は当時新潮社文芸賞を受賞した。前作《風の中の子供》も清水監督によって映画化され、いずれも善太と三平の兄弟が主人公であり、彼らの眼を通してみた大人の世界が描かれ、子供の純真な心に大人が目を開かれるという物語が、清水監督独特のノンビリした描写でスガスガしく描かれている。

野ばら

Der Schönste Tag meines Lebens
オーストリア1957年作品

脚本=カール・ライター 脚本・監督=マクス・ノイフェルト 撮影=ヴァクラフ・ヴィヒ 美術=ヴァルター・シュミードル 音楽=ハインツ・ノイブラント 指揮=ハンス・トートツァウアー 出演=ミヒャエル・アンデ(トニー)、パウル・ヘルビガー(団長)、エリノア・イエンセン(寮母マリア)、パウル・ベージガー(シュミット)、ウイーン少年合唱団 カラー 1958年8月23日封切

1956年のハンガリー一動乱でオーストリアに逃ってきた孤児トニーが、憧れのウイーン少年合唱団に入団し、美しい寮母に励まされながら厳しい合唱訓練に耐え暖かい友情に目ざめて行く姿が描かれている。

白き氷河の果てに

北斗映画プロ1978年作品

監督=門田龍太郎 撮影=瀬川順一、川本茂、赤松威善、阿久津悦夫、塚本公雄、田代啓史 音楽=いづみたく 録音=紅谷慎一 編集=鈴木暁 ナレーター=中村吉右衛門 カラー 6月10日封切

カラコルム山脈でもひときわ高く容を誇るK2(8,611米)は登頂の困難さでは世界一といわれる。1977年日本K2登山隊員47名は5月26日スカルドを出発、6月16日に標高5,200米の氷河上にベースキャンプを設営し、雪崩などの幾多の困難を経て8月8日、9日の2度にわたって登頂に成功するまでの描いた記録映画。

若草の祈り

Railway Children

イギリス1970年作品

原作=エディス・ネズビット 脚本・監督=ライオネル・ジェフリーズ 撮影=アーサー・イベットソン 音楽=ジョニー・ダグラス 出演=ジェニー・アガター(ボビー)、ダイナ・シェリダン(母)、サリー・トムセット(フィリス)、ゲイリー・フレン(ピーター)、バーナード・クリビンス(パークス氏) カラー 1971年12月25日封切

舞台は今世紀初頭のヨークシャーの田舎。スパイ容疑で連行された父の帰りを、母と3人の姉弟は田舎でのひっそりとした生活中で、1日1本だけ走るSLに夢を託して待っている。厳しい境遇にもめげず、ついには父と再会するという物語。